

エコアクション21

環境経営レポート



2024/11/21発行



株式会社タイシン

高知県 高知市介良乙278-1

TEL 088-878-4771

FAX 088-878-4772

目 次

1. 組織の概要	3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	4
3. 環境経営方針	6
4. 環境管理組織体制	7
5. 環境経営活動への取組の全体概要	8
6. 環境経営目標	9
7. 環境経営計画	10
8. 環境経営目標の実績	11
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	16
10. 次年度の取組内容	21
環境経営目標	
環境経営計画	
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	23
12. 代表者による全体評価と見直しの結果	25

発行日： 2024年11月21日発行
発行責任者： 環境管理責任者 庄司 江里
次回発行予定： 2025年11月頃



I. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 タイシン

【代表者名】 代表取締役 庄司 宗一郎

【所在地】

本社：〒781-5106
高知県高知市介良乙278-1
四国支店：〒761-8041
香川県高松市檀紙町771-1

【環境管理責任者氏名及び担当者、連絡先】

環境管理責任者：庄司 江里
環境管理事務局：井添 麻由美
連絡先：TEL：088-878-4771
FAX：088-878-4772
H P：https://taishin-company.com/
m a i l：taishin@seagreen.ocn.ne.jp



*冷暖房の負荷を軽減する為に、
外壁に遮熱材（ガイナ）を使用
しています

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業 土木一式工事（橋梁修繕・補修工事等）、
建築工事（耐震工事）、とび 土工工事、
鋼構造物工事、建築の耐震診断、コインランドリー経営

建設業許可

許可番号 国土交通大臣許可(般-5) 第28825号
許可年月日 令和10年4月20日
建設業の種類 一般建設業

【事業規模】

設立年月日 平成15年3月12設立
資本金 1000万円

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
売上高	(千円)	256,528	363,509	305,010	333,679
従業員数	(名)	20	17	17	17
事業所敷地面積	(m ²)	220.45	220.45	220.45	220.45
事業所延べ床面積	(m ²)	222.28	222.28	222.28	222.28

従業員数は、2023.11月現在

会計 5 月 ～ 4 月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社タイシン

本社： 高知県高知市介良乙278-1

四国支店： 香川県高松市檀紙町771-1

対象事業： 土木一式工事（橋梁修繕・補修工事等）、
建築工事（耐震工事）、とび 土工工事、
鋼構造物工事、建築の耐震診断、コインランドリー経営

【レポートの対象期間】

2023年5月～2024年4月

【環境経営レポートの発行日】

2024年11月21日発行

【作成責任者】

環境管理責任者

庄司 江里



対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3.環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社タイシンは、高知県高知市で土木関係の建設工事を行っています。
社員一人一人が環境問題を認識し自然への負荷を極力かけないように、そして
豊かな自然を長く未来に残すために事業活動を通じて、環境負荷低減に取り組み
継続的改善による環境経営を推進してゆきます。

【基本方針】

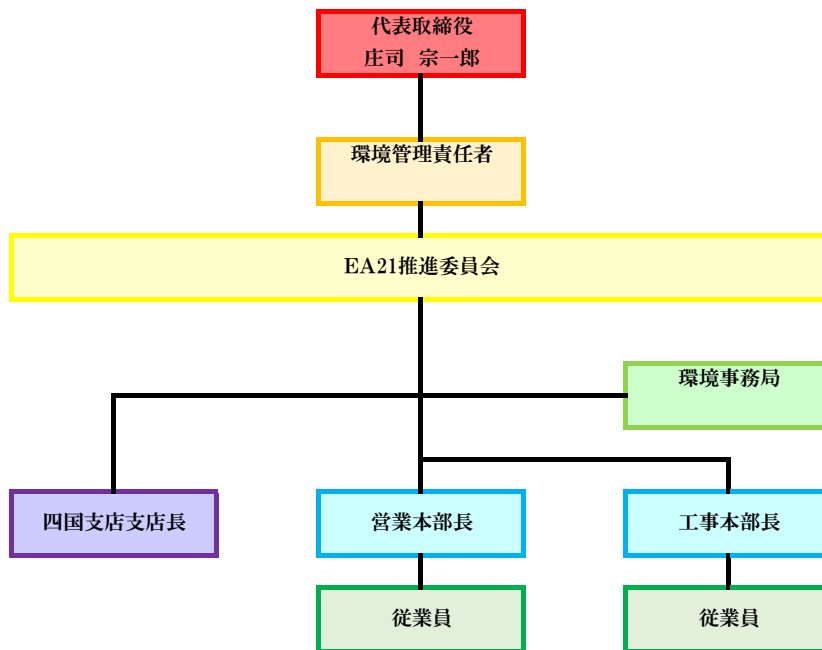
1. 建設工事において、環境負荷の少ない工事を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
7. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
8. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
9. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

2022年7月4日

株式会社 タイシン

代表取締役 庄司 宗一郎

4.環境管理組織体制

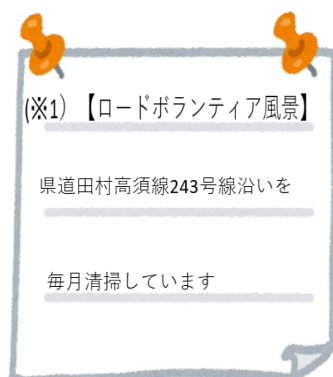


環境管理システム 役割・責任・権限表	
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に關係する環境活動計画の実施、達成状況報告 ・自部門に關係する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



<全体概況>

- 前期より四国支店の設立とランドリー事業の参入を行ったことにより、電力使用量・用水使用量が増加しました。
- 一般廃棄物排出量は目標値に対して10%、下回ることが出来ました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）実施しております。（※1）今後も継続していきます。



<株式会社タイシン の物質フロー>（2023年度）

<INPUT>

燃料26,359 L
電力44,734 kWh
用水1,001m³



株式会社タイシン 事業活動

土木工事業
建築工事業
とび 土工事業
鋼構造物工事業
建築の耐震診断
ランドリー事業

<OUTPUT>

CO₂ 86,789kg-CO₂
排水 1,001m³
廃棄物 26t



6.環境経営目標(2023年度)

(1) 単年度目標

(総量目標)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4
売上高		百万円	277	380
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	24,050
	原単位	(ℓ/百万円)	58	63
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	6,150
	原単位	(ℓ/百万円)	17	16
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,800
	原単位	(kWh/百万円)	60	76
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,142	92,050
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	210	242
用水使用量	総量	(m ³)	218	1,240
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	3.3
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	430
	原単位	(kg/百万円)	1.3	1.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	51
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	100
グリーン購入	総量	(%)	35	39
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(70件/70件)	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10

※1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)
(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。

※2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※3. 環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数59件/総工事件数59件 100%(59件/59件)

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○漏水防止対策の実施

※4. ガソリン使用量・軽油使用量は遠方現場に入る見込み有の為目標値をあげている

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績(基準年)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	277	390	400	410
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	24,000	23,950	23,900
	原単位	(ℓ/百万円)	58	62	60	58
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	6,100	6,050	6,000
	原単位	(ℓ/百万円)	17	16	15	15
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,700	28,600	28,550
	原単位	(kWh/百万円)	60	74	72	70
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,142	92,000	91,050	91,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	210	236	228	222
用水使用量	総量	(m ³)	218	1,235	1,230	1,225
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	3.2	3.1	3.0
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	425	420	415
	原単位	(kg/百万円)	1.3	1.1	1.1	1.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	50	48	46
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	35	40	40	40
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(85件/85件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

7.環境経営計画 (2023年度)

期間： 2023 年 5月 ～ 2024 年 4 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○急発進、急加速の禁止	環境管理責任者	2023.5月～2024.4月
		○不要なアイドリングの禁止	環境管理責任者	//
		○車両点検を定期的に行う	環境管理責任者	//
		○移動時可能な限りは乗り合わせる・効率的な移動をする	環境管理責任者	//
	電力使用量削減	○エアコンの温度設定の適正化（夏：28℃,冬：20℃）	事務	//
		○トイレ・会議室・倉庫等の照明は使用時のみ点灯する	事務	//
		○昼休み・退社時の消灯を徹底する	事務	//
		○照明スイッチ等の箇所節電啓発ビラを貼る	事務	//
用水使用量削減（排水量削減）		○蛇口の閉め忘れがないか確認する	事務	//
一般廃棄物排出量削減		○コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す	事務	//
		○ミスプリント用紙で可能なものは裏面利用をする	事務	//
産業廃棄物排出量削減		○分別を徹底し、再資源化処理業者に委託しリサイクル率を向上させる。	各現場代理人	//
		○再生砕石を利用する	各現場代理人	//
グリーン購入		○エコマーク文具を選定購入する。	事務	//
		○リサイクル商品の購入、使用の推進	事務	//
現場における環境対策		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	各現場代理人	//
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	各現場代理人	//
		○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	各現場代理人	//



8.環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4	2023年度 実績 2023.5-2024.4	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	277	380	333	88	×
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	24,050	19,313	80.3	○
	原単位	(ℓ/百万円)	58	63	58	92	
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	6,150	6,553	106.6	×
	原単位	(ℓ/百万円)	17	16	20	122	
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,800	44,734	155.3	×
	原単位	(kWh/百万円)	60	76	134	177	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,142	92,050	86,789	94.3	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	210	242	261	108	
用水使用量	総量	(m ³)	218	1,240	1,001	80.7	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	3.3	3.0	92.1	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	430	536	124.7	×
	原単位	(kg/百万円)	1.3	1.1	1.6	142.2	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	51	26	51.0	○
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.1	0.1	58.2	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	100	100.0	100.0	○
グリーン購入	総量	(%)	35	39	39	100.0	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(70件/70件)	100	100%(59件/59件)	100.0	○
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	100.0	○

※1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)

(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。

※2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※3. 環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数59件/総工事件数59件 100%(59件/59件)

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

※4. ガソリン使用量・軽油使用量は遠方現場に入る見込み有の為目標値をあげている

<環境経営目標未達成等理由>

ガソリンの使用量は目標値より17%の削減に成功しました。

電力使用量は目標値を大幅に超えています、本社の電力は昨年の数値より3%の削減に成功しました。

四国支店の電力が昨年と比べて大幅に増加していますが、前回は5ヶ月しか計上していなかった為。

CO₂排出量は目標値より6%の削減に成功しました。

用水使用量は目標値より20%の削減に成功しました。

<過去の実績>

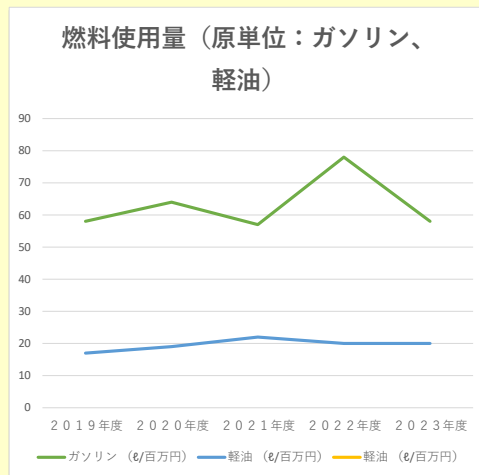
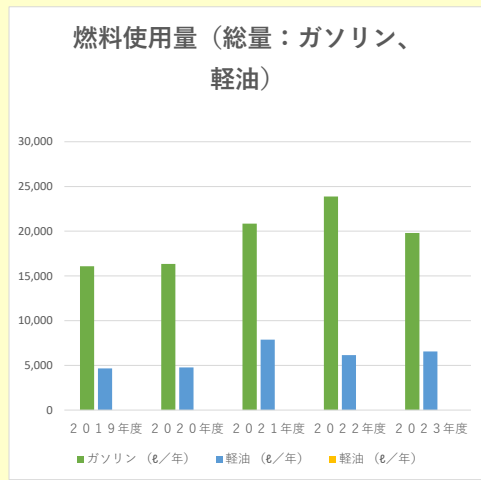
項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績(基準年)	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績
売上高		百万円	277	363	305	333	
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	20,846	23,883	19,313	
	原単位	(ℓ/百万円)	58	57	78	58	#DIV/0!
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	7,880	6,148	6,553	
	原単位	(ℓ/百万円)	17	22	20	20	#DIV/0!
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,192	38,952	44,734	
	原単位	(kWh/百万円)	60	78	128	134	#DIV/0!
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,142	84,884	92,109	86,789	
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	210	234	302	261	#DIV/0!
用水使用量	総量	(m ³)	218	254	1,239	1,001	
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.7	4.1	3.0	#DIV/0!
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	405	428	536	
	原単位	(kg/百万円)	1	1.1	1.4	1.6	#DIV/0!
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	639	35	26	
	原単位	(t/百万円)	0.7	1.8	0.1	0.1	#DIV/0!
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	99.4	100.0	100.0	
グリーン購入	総量	(%)	35	37	38	39	
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(70件/70件)	100%(65件/65件)	100%(58件/58件)	100%(59件/59件)	
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10	

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)
2019年度	16,086	4,651
2020年度	16,347	4,768
2021年度	20,846	7,880
2022年度	23,883	6,148
2023年度	19,805	6,553

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)
2019年度	58	17
2020年度	64	19
2021年度	57	22
2022年度	78	20
2023年度	58	20

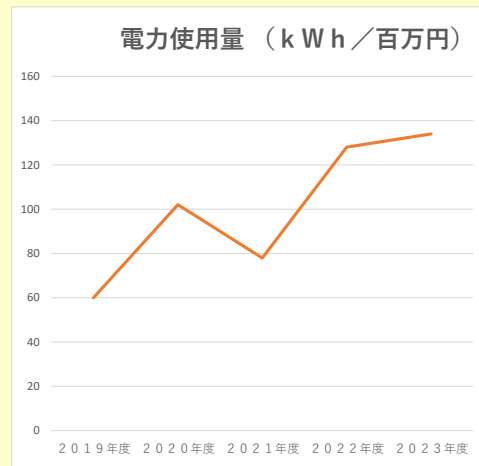
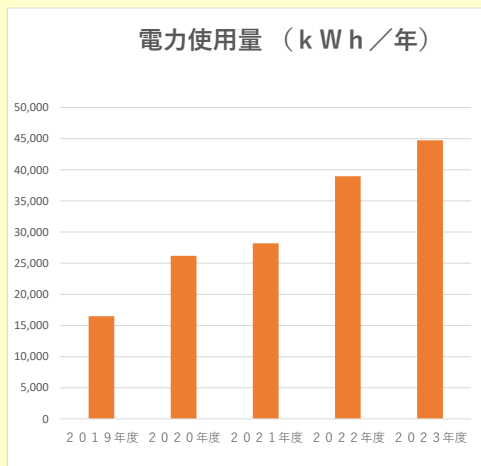


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	16,494
2020年度	26,198
2021年度	28,192
2022年度	38,952
2023年度	44,734

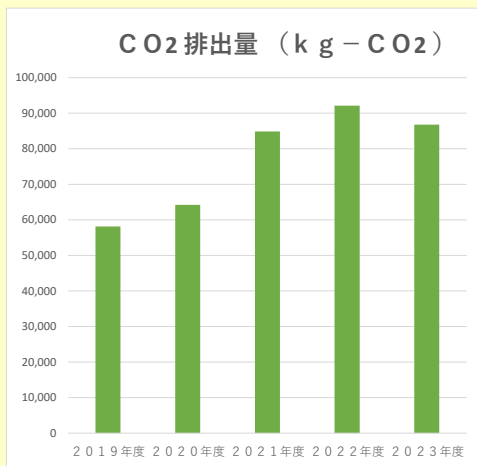
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	60
2020年度	102
2021年度	78
2022年度	128
2023年度	134



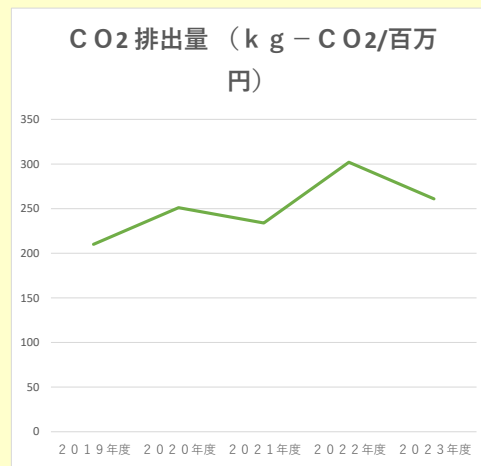
CO₂ 排出量（総量：（k g－CO₂）

年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂)
2019年度	58,142
2020年度	64,242
2021年度	84,884
2022年度	92,109
2023年度	86,789



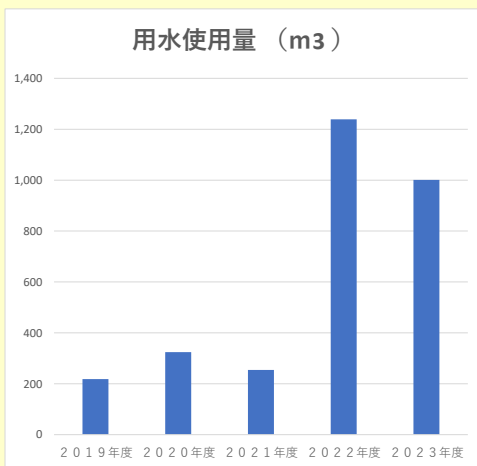
CO₂ 排出量（原単位：k g－CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (k g－CO ₂ /百万円)
2019年度	210
2020年度	251
2021年度	234
2022年度	302
2023年度	261



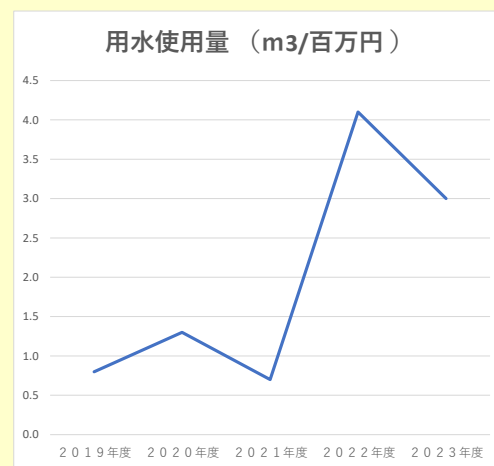
用水使用量（総量：m³）

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	218
2020年度	324
2021年度	254
2022年度	1,239
2023年度	1,001



用水使用量(原単位：m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.8
2020年度	1.3
2021年度	0.7
2022年度	4.1
2023年度	3



廃棄物排出量（総量：一般廃棄物、産業廃棄物）

単位：一般廃棄物 kg／年

単位：産業廃棄物 t／年

年度	一般廃棄物 kg／年	産業廃棄物 t／年
2019年度	373	186
2020年度	445	136
2021年度	405	639
2022年度	428	35
2023年度	536	26

廃棄物排出量（原単位：一般廃棄物、産業廃棄物）

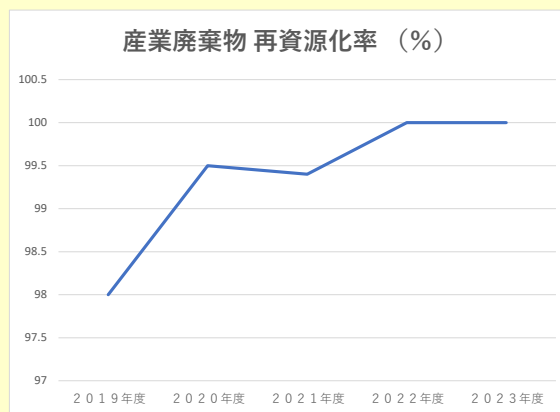
単位：一般廃棄物 kg／百万円

単位：産業廃棄物 t／百万円

年度	一般廃棄物 kg／百万円	産業廃棄物 t／百万円
2019年度	1	0.7
2020年度	2	1.0
2021年度	1.1	1.8
2022年度	1.4	0.1
2023年度	1.6	0.1

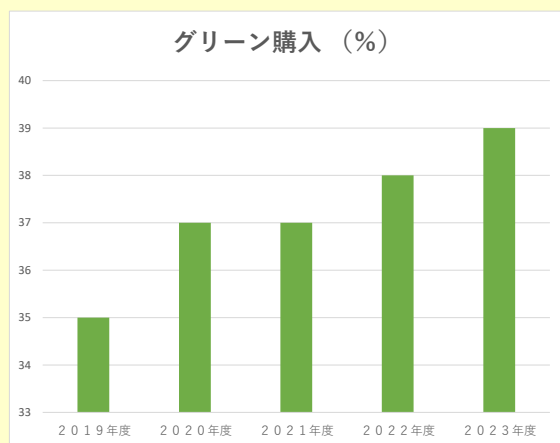
産業廃棄物再資源化率（％）

年度	産業廃棄物 再資源化率 （％）
2019年度	98
2020年度	99.5
2021年度	99.4
2022年度	100
2023年度	100



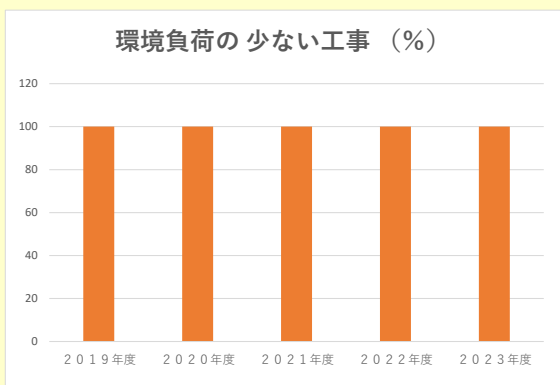
グリーン購入（％）

年度	グリーン購入 （％）
2019年度	35
2020年度	37
2021年度	37
2022年度	38
2023年度	39



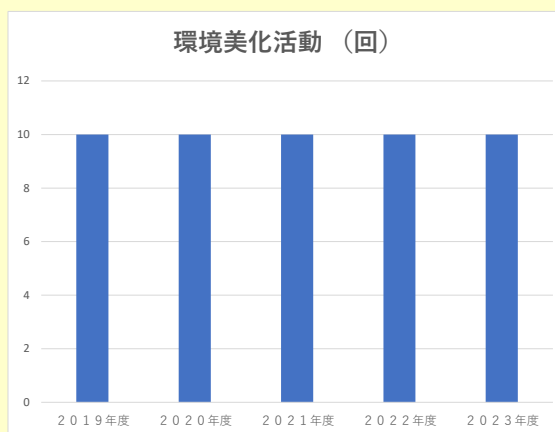
環境負荷の少ない工事（％）

年度	環境負荷の 少ない工事 （％）
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動（回）

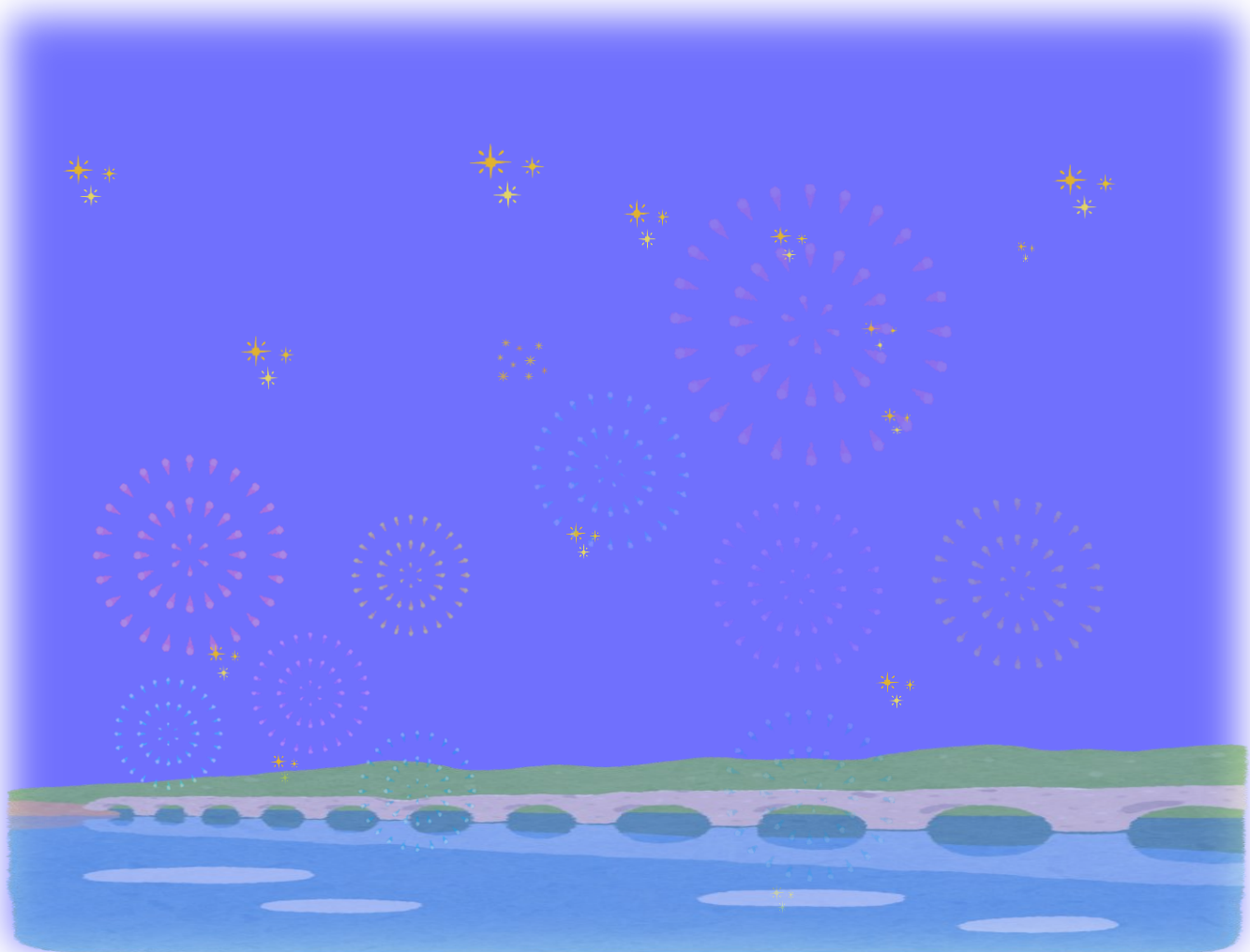
年度	環境美化活動 （回）
2019年度	10
2020年度	10
2021年度	10
2022年度	10
2023年度	10



9.環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023 年 5 月 ～ 2024 年 4 月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量	燃料使用量	○急発進、急加速の禁止	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
削減	削減	○不要なアイドリングの禁止	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○車両点検を定期的に行う	定期点検を修理工場で行っている。	○	今後も継続していく。
		○移動時可能な限りは乗り合わせる・効率的な移動をする	特別な理由がない限り、本社から現場までは実行している。	○	今後も継続していく。
		電力使用量	○エアコンの過度な温度設定は控える	猛暑日は設定温度を低くした。	△
	削減	○トイレ・会議室・倉庫等の照明は使用時のみ点灯する	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○昼休み・退社時の消灯を徹底する	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○照明スイッチ等の箇所節電啓発ピラを貼る	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
用水使用量削減（排水量削減）		○蛇口の閉め忘れがないか確認する	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○ミスプリント用紙で可能なものは裏面利用をする	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
	産業廃棄物	○分別を徹底し、再資源化処理業者に委託しリサイクル率を向上させる。	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
		○再生砕石を利用する	よく取り組めている。	○	今後も継続していく。
グリーン購入		○エコマーク文具を選定購入する。	優先的に購入できている。	○	今後も継続していく。
		○リサイクル商品の購入、使用の推進	優先的に購入できている。	○	今後も継続していく。
環境負荷の少ない工事の実施		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	各現場で使用されている。	○	今後も継続していく。
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	各現場で使用されている。	○	今後も継続していく。
		○環境負荷の少ない材料（間伐材、県産品等）の使用	再生砕石等の使用など、実施されている。	○	今後も継続していく。



1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



社用車の更新

2015～2024年で社用車5台をハイブリッド車に更新

(2) 電力使用量削減

本社事務所1階 LED照明設置（2015年7設置）

本社事務所2階部分の照明（30本）を蛍光灯からLEDに更新しました。



トイレ照明に人感センサー設置（2015年7月設置）

本社事務所内トイレの照明に人感センサーを設置し、節電に努めています。



2. 用水使用量の削減

節水シール貼付（2019年5月設置）

本社事務所内の水道蛇口（1ヶ所）に節水シールを貼付け、啓発を図っています。



3. 廃棄物の削減

一般廃棄物の削減

コピー用紙の裏紙使用、両面コピー。

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにして



ゴミの分別収集

ゴミ箱を種類別に設置し、リサイクルし易くして



ネットFAXの利用
(2021年6月導入)

無駄な用紙の印刷をしないようにしています。



4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、カートリッジ類、ノート類、ボールペン、シャープペン等

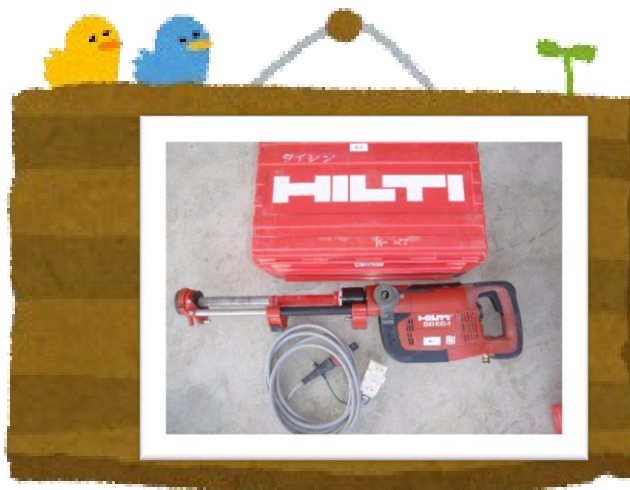


5. 環境負荷の少ない工事实施



環境負荷の少ない材料（間伐材）の使用

工事用看板には間伐材を使用し、環境負荷 低減に努めました。



低騒音・低振動・無粉塵アドリルの使用

6. 環境美化活動



現場付近の清掃活動



7.社会貢献活動

使用済み切手の収集を開始しました。たまり次第寄付します。



南国市社会福祉協議会に非常食を寄付させて頂きました。
広報に掲載して頂き有難うございました。



8.整理整頓



事務所の整理整頓

在庫の管理や、事務処理が効率よく出来るような配置にしています。

例) 文具は写真の様に見やすく取りやすくしています。



10. 次年度の取組内容

環境経営目標

(2024 年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.5-2020.4	2024年度 目標 2024.5-2025.4
売上高		百万円	277	390
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	24,000
	原単位	(ℓ/百万円)	58	62
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	6,100
	原単位	(ℓ/百万円)	17	16
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,700
	原単位	(kWh/百万円)	60	74
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,787	87,892
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	212	225
用水使用量	総量	(m ³)	218	1,235
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	3.2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	425
	原単位	(kg/百万円)	1.3	1.1
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	50
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	100
グリーン購入	総量	(%)	35	40
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(70件/70件)	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10

※1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(平成29年度実績)

(令和4年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.574(kg-CO₂ /kWh)を使用した。

※2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

※3. 環境負荷の少ない工事＝環境負荷の少ない工事件数59件/総工事件数59件 100%(59件/59件)

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

※4. 四国支店の設立・コインランドリー事業の参入の為に目標値を上げている

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績(基準年)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	277	400	400	400
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	16,086	23,950	23,900	23,850
	原単位	(ℓ/百万円)	58	60	58	56
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,651	6,050	6,000	5,950
	原単位	(ℓ/百万円)	17	15	15	15
電力使用量	総量	(kWh)	16,494	28,600	28,550	28,500
	原単位	(kWh/百万円)	60	72	71	71
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	58,787	87,589	87,316	87,042
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	212	219	218	218
用水使用量	総量	(m ³)	218	1,230	1,225	1,220
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	3.1	3.1	3.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	373	420	415	410
	原単位	(kg/百万円)	1.3	1.1	1.0	1.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	186	48	46	46
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.1	0.1	0.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	98	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	35	40	40	40
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(70件/70件)	100%	100%	100%
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

10. 次年度の取組内容

環境経営計画 (2024年度)

期間：2024 年 5月 ～ 2025 年 4 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○急発進、急加速の禁止	環境管理責任者	2024.5月～2025.4月
		○不要なアイドリングの禁止	環境管理責任者	〃
		○車両点検を定期的に行う	環境管理責任者	〃
		○移動時可能な限りは乗り合わせる・効率的な移動をする	環境管理責任者	〃
	電力使用量削減	○エアコンの温度設定の適正化(夏:26℃,冬:22℃)	環境管理責任者	〃
		○トイレ・会議室・倉庫等の照明は使用時のみ点灯する	環境管理責任者	〃
		○昼休み・退社時の消灯を徹底する	環境管理責任者	〃
		○照明スイッチ等の箇所節電啓発ビラを貼る	環境管理責任者	〃
用水使用量削減(排水量削減)		○蛇口の閉め忘れがないか確認する	環境管理責任者	〃
一般廃棄物排出量削減		○コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す	環境管理責任者	〃
		○ミスプリント用紙で可能なものは裏面利用をする	環境管理責任者	〃
産業廃棄物排出量削減		○分別を徹底し、再資源化処理業者に委託しリサイクル率を向上させる。	各現場代理人	〃
		○再生砕石を利用する	各現場代理人	〃
グリーン購入		○エコマーク文具を選定購入する。	環境管理責任者	〃
		○リサイクル商品の購入、使用の推進	環境管理責任者	〃
現場における環境対策		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	各現場代理人	〃
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	各現場代理人	〃
		○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	各現場代理人	〃

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
	第12条の10、11項	多量排出事業者(年間1,000t以上)の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	廃棄物排出時	庄司	遵守	2024.6.1
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回 毎年6月末	事務	遵守	2024.6.1
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可(5年毎に更新)	期限切れ 3ヶ月前	庄司	遵守	2024.6.1
	第14条の一12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分				
	規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体:床面積80m ² 以上 新築・増築:床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
大気汚染防止法 (解体工事)	第18条 の17	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに説明するとともに、その結果等を解体等工事場所へ掲示	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO ₂ -t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	庄司	該当なし	2024.6.1
	第5条	○定期点検の実施 エアコン:3.7kW以上50kW未満 ○簡易点検	1回/3年 1回/3ヶ月	庄司	遵守	2024.6.1
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン:200ℓ 第2石油類 灯油、軽油:1,000ℓ 第3石油類 重油:2,000ℓ 第4石油類 潤滑油:6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	庄司	該当なし	2024.6.1
浄化槽法	第10条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年1回	事務	遵守	2024.6.1
	第11条	○年1回の水質検査実施				

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
南国市環境基本条例	第5条 第28条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	庄司	遵守	2024.6.1
南国市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	庄司	遵守	2024.6.1

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年5月より2024年4月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

■ 定期見直し

□ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性： □有 ■無	
2023年 5月より2024年 4月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。				・環境経営方針の見直しはありません。	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況					
2023年 5月より2024年 4月まで、問題の点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。					
③前回までの代表者の指示事項への対応					
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】	
				変更の必要性： ■有 □無	
				・環境経営経営計画の見直しはありません。	
				・環境管理組織体制については、現状を維持する。	
				・次回更新時に基準年の見直しを行う事。	
				【その他】	
				変更の必要性： □有 ■無	
				エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
＜改善提案＞				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
売上高の増加・遠方現場の落札出来たので、目標値の見直しを行う事				建設業として建設資材高騰、資材不足、資材供給遅延、工事量の増減など、様々な外部要因がある中で、エコアクション21の目標を達成していく事の難しさを改めて実感するが、少しでも改善していくため、地道にエコアクション21の活動を続けていくことで地域環境の向上にむけ貢献できる企業とする。今後も目標達成できるよう社員一同で取り組んでいきます。	
【周囲の変化の状況】					
①外部コミュニケーション記録より					
施工前にはチラシを配り対応をしているので、					
2023年5月より2024年4月まで、外部からの苦情及び要望はありませんでした。					
②環境関連法規制等の動向他					
当社における、環境関連法規の改定の対象となるものはありませんでした。					
＜改善提案＞					

代表取締役 庄司 宗一郎